

# 応援メッセージ

大分合同新聞

平成21年8月24日 掲載

国際大会「東京09アジアユースパラ」  
砲丸投げ・100メートル走出場

氏名 寺本 健太郎 さん

大分経理専門学校 ビジネス管理科1年

## 国際舞台 狙うぞメダル

来月10日開幕「東京09アジアユースパラ」陸上

ジュニアの国際スポーツ大会「東京2009アジアユースパラゲームズ」に、県内から3選手が出場する。陸上競技の日本代表として国際大会に挑むのは3人とも初めてで、意欲を燃やしている。

3人は▽上村優樹さん(16)▽日本文理大付属高校 校1年・大分市。

(14)▽大分市王子中学2年 2年・佐伯市▽寺本健太郎 大会は9月10、13日に東

・大分市▽清水栄信さん(19)▽大分経理専門学校 京都内で開催する。アジア

### 練習重ね、めきめき成長

### 初挑戦 燃える3選手

の約30の国・地域から14、で、どんとたくましくな19歳の障害がある選手約 っている。障害がある子ど900人が参加し、陸上や 泳がスポーツをする機会が水泳など6競技に挑む。日 本選手団は218人。3人 普及のきっかけになれば「は100以上に加え、上村 と期待している。

さんは2007、清水さん 大会で3人は、白いユニ は田舎投げ、寺本さんは砲 丸投げの2種目に出場す 技場で競技する。清水さん と寺本さんは「応援してく

る。3人は幼いころの病気な だが原因で体の左側にまひ がある。リハビリを受けて いる大分療育センター(大 分市国分)の理学療法士で、 障害者スポーツ指導員を務 気込む。



日本代表として初の国際舞台に挑む(左から)上村優樹さん、寺本健太郎さん、清水栄信さん



東京09アジアユースパラゲームズ。前回は2003年に香港であつた。アジアパラは1975年から2006年まで計9回開かれた。陸上競技大会が前身。同大会は本場の家(別府市)の創設者、中村裕博士(故人)が指導して大分県で誕生した。

める加藤和恵さんに勧められて競技を始めた。本格的な練習を始めたのは今年3月。5月に大分市内であったアジアユースの選考大会で、そろって大会の出場条件となる標準記録を突破した。

陸上コーチとして参加する加藤さんは「3人は練習